

正徳館

だより



県立正徳館高等学校
長岡市与板町東与板 173
TEL0258-72-3121
令和7年3月3日発行



PTA会長より

『祝 卒業』

PTA会長

本日、正徳館高校の卒業を迎えた三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さまにおかれまして、今日この日を迎えられることをご心よりお祝い申し上げます。また、PTA活動におきましても多大なるご信頼とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは三年前、大きな希望と不安を持

ってこの正徳館高校に入学してきたと思います。そしてこの三年間の高校生活で大きく成長したことと思います。勉強や部活動、課外活動等を通じて、達成感や挫折感を味わいながら成長を実感できたのではないのでしょうか。皆さんの成長を近くでも見守ってくれていたご家族や先生方、地域の方々や友達存在を忘れてはいけません。

これから皆さんはそれぞれの道を歩んでいきます。そんな皆さんには「夢」を持つてほしいと思います。今後自分がどうなりたいか、そのような人生を歩んでいきたいか、迷うこともあると思います。そんな時に「夢」という目標があれば、自ずと進むべき道も見えてくると思えます。どうか「夢」を叶えるた

めに一生懸命努力をしてください。

しかし時にはうまくいかないこと、失敗してしまうこともあると思います。そんな時は一人で悩まずに一度立ち止まり、家族や友達、お世話になった先生方に相談してください。きっと皆さんの味方になってくれます。そしてまた「夢」に向かって歩んでいってください。その中で新たな友達、大切な人と出会うことでしょう。そうした新しい出会い、そして今皆さんの周りにいる家族や友達、先生方とのご縁を大切にしてください。きっとみなさんの大切な宝物になると思えます。

卒業生の皆さんに心からの祝福を贈り、そして輝く光が未来を照らし続けることを確信しています。



学校長より

『祝 卒業 希望とともに』

校長 竹内 正宏

正徳館高校十八期卒業生二十二名の皆さん、御卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様が卒業を迎えられ、これまでを思い出されながら感激もひとしおのことと存じます。

皆さんは、入学以来、「磨かれた知性と健康で情操豊かな人間性を保ち、規律と秩序を重んじ、社会の発展に貢献できる有意な人材を育成する」という教育目標のもと、創立二十周年を迎えた学び舎で、学習や部活動に励み、級友と友情を育み、高校生活を送ってきました。

そしていよいよ四月からは、一人一人が自ら選んだ道を歩んでいきます。

皆さんの輝かしい未来への門出に際し、一言の「希望」を授けます。

「希望」について研究している東京大学の教授によれば、無意識のうちに見たり、

飽き足らない気持ちから次々に生まれたりするのが「夢」であるのに対して、「希望」は意識的に見たり、苦しい状況だからこそあえて持つとうとしたりするところに特徴があります。『希望の作り方』

つまり希望とは、「自分の行動によって何かが実現することを願う気持ち」ということです。

よく「夢と希望」と言いますが、人生を歩んでいく以上、たとえ夢がまだなくとも、希望はあるべきだと考えます。「希望」とは「何かを、こなすじみちや行動で実現したい」、そう思うことです。

この思いが、何かを成すときの始まりであり、ごくごく小さな目標ともいえるでしょう。

これから将来、困難な状況もあるでしょう。しかし、もがきながら試行錯誤を続けていることは、私たちがそれぞれに歩もうとしている証であり、その試行錯誤のもがきの中でこそ希望は生まれてきます。逆説的では

ありますが、希望が見いだせない時でも、行動していれば希望が見えてくるというわけです。

研究者曰く、「大きな壁にぶつかった時に大切なことはただ一つ。壁の前でちゃんとウロウロしていること。どうしよう、どうしようと、とにかく立ち止まらずに、壁の前を行ったり来たりする。ちゃんとウロウロしていれば、だいたい大丈夫。」

本校の校歌に「道は遠く長いけれど いま ここで高い希望（のぞみ）を描くのだ」とあります。皆さんの一人一人の将来が数多の希望で充ち満ちていることを心から願っています。

結びに、PTA役員、保護者の皆様には、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。深く感謝申し上げます。とともに、卒業生のさらなる成長を祈念して挨拶いたします。



『祝 卒業』

三年一組担任

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

私は昨年度、正徳館高校に赴任したと同時に、当時の二年生の担任になりました。それから二年間とはいえ、月曜日のSHR前からエネルギーに満ち溢れ、休み時間は廊下に元気な声が響き渡り、金曜日午後のキャリアガイダンスの授業では、いつの間にか話し合いが始まり大騒ぎになる、そんな賑やかな皆さんと過ごすのは、正直言って楽ではありませんでした。ですが、さりげない気遣いができる人、いざとなったらリーダーシップを発揮できる人、提出物は必ず期限を守る人、皆さんから私自身助けられ、元気をもらい、教えられることも多かったと感じています。ありがとうございます。

二年生の時は、慣れない環境でインターンシップを行い、働くことの大変さを実感し、修学旅行では班別行動の計画を自分たちで立て、記憶に残る旅行になったことで

しよう。三年生の時は、進路の活動で履歴書の清書や面接練習を何度も繰り返し返して試験に臨み、正徳館フェスティバルでは、リーダーを中心として夏休み前から準備を始め、行事をつくり上げる難しさと達成感を感じたことでしょう。この三年間、ご家族はもちろん、友人、先生方、地域の方々等、本当に多くの方々に支えられ、育てられてきたことを忘れてはなりませんよ。

いよいよ卒業です。それぞれの進路で失敗を恐れず、仕事や勉強に全力を尽くしてください。うまくいかないことも失敗することもあるでしょうが、謙虚な姿勢で頑張っている人には必ず手を差し伸べてくれる人が現れるはず。そして自分自身が納得のいく人生を歩んでほしいと心から思います。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業おめでとうございます。これまで様々な面でご支援ご協力いただきありがとうございました。

『進路指導室より』

進路指導主事

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年度の進路状況を振り返ると、就職、進学が約半数の割合となりました。

就職に関しては、昨今若い人材が強烈に求められる状況が続いています。給料の増額、休日の増加、メンター制度など働き方の改善を実施し、受け入れ体制を整えてくれている企業の話も多く耳にしました。選択肢が多く、売り手市場といえる中で、三年生は自分の進みたい道を柔軟に模索し、決定していきましょう。

説明会や見学会をきっかけに自己分析を深め、年度当初とは希望が変化することもありましたが、最終的には製造業、販売・サービス業、建設業へと割合を等分する形で内定をいただきました。

進学者は、学校推薦型入試を利用した入試が約半数、総合型選抜利用が半数でした。大学や短大の推薦

入試では小論文を課されることが多いので、合格者はオープンキャンパス等に参加し、専攻やカリキュラムを理解したうえで、何度も文章を添削してもらおうなどの対策を行いました。専修学校では、同じ分野でも複数の学校を比較検討することにより、納得のいく決定につなげました。

春からは新生活が始まります。企業に入る人、専門性を高めるために進学する人、それぞれが自分の分野において主体的に行動し、力を発揮してもらいたいと思っています。これからの活躍をお祈りしています。

【進路先一覧】（五十音順） （進学）

長岡公務員・情報ビジネス専門学校、長岡崇徳福祉専門学校、名古屋経済大学、新潟国際自動車大学校、にいがた製菓・調理専門学校、えぷろん、新潟デザイン専門学校、日本ITビジネス専門学校、北陸食育フードカレッジ

(就職)

安達紙器工業株式会社、AMAZING HAIR (株式会社 t e n i c o)、株式会社江口だんご、株式会社コロナ長岡工場、株式会社原信 (アクシアルリテイリンググループ)、株式会社ブルボン長岡工場、株式会社美松、河田建設株式会社、北陸施設工業株式会社



『三年間の思い出』

三年一組 代表

私がこの三年間を振り返って感じたことは「三年間はあっという間だった」ということです。

一年生の頃は、学校生活の環境が変わったことで、勉強に熱心に取り組むことができました。テストでは高得点を取ることができ、勉強してよかったと思えました。一方、部活動では練習してもなか

な上達せず、辛いなど感じる日もありました。

二年生になると、選択授業が多くなりました。授業ではビジネス文書検定や情報処理検定を受けました。勉強面では、成績が下がってしまい、どうしたら今までのように勉強に取り組めるか、悩んだ日もありました。行事では、修学旅行で東京に行き、三日間とても楽しく過ごせたことを今でも覚えています。一日目はみんなでもんじや焼きを食べたことが印象に残っています。二日目は自由行動でデイズニードランドへ行きました。行きも帰りも時間がギリギリで大変でした。三日目は浅草に行ったり、東京スカイツリーに行ったりしました。帰りの新幹線ではみんな疲れ切っていました。三日間楽しかったです。

三年になってからは、主に進路の活動が中心でした。私は進学希望で、AO入試を受けました。本番の試験では合格できるか心配でしたが、合格してとても嬉しかったです。

最後に、文化祭や球技大会などの学校行事や普段の学校生活も含め、いい思い出となりました。三年間とても楽しかったです。ありがとうございました。



『三年間を振り返って』

三年一組 代表

一年の時、入学後すぐ各授業で自己紹介をしました。初めの頃は緊張していましたが、みんなのことを知ることができて名前もだんだん覚えられました。部活動は華道部に入りました。季

節によってさまざまな花材を自由に生けることができ、楽しかったです。普段できない貴重な経験ができるので入部してよかったと思いました。

二年生の時はインターンシップで美容室に行きました。私はヘアアレンジに興味があったので、さまざまなアレンジを教わることでできうれしかったです。美容師はお客様との積極的なコミュニケーションを大切にしています。接客をする上で必要なことが学べたのでよかったです。修学旅行は東京へ行きました。班活動では、事前に行きたい場所や時間を決めて計画的に行動ができました。しっかり時間を守りながら水族館やお台場で有意義に過ごせてよかったです。

三年の時は就職活動を頑張りました。夏休みには履歴書書きと面接練習がとても大変でした。先生方から細かい部分まで教わり、基本の礼儀や言葉遣いを学びました。試験当日は練習を生かし、自

分なりにアピールすることができました。就職先ではお客様とコミュニケーションをとり、柔軟な対応を心がけていきたいと思っています。そして基本的な挨拶や笑顔を大切に頑張りたいと思います。

三年間の学校行事では、体育祭や正徳館フェスティバルが印象に残りました。他学年との交流が多く、団結しながら楽しめてよかったです。高校での思い出を忘れずに、これからも仲間や絆を大切にしていきたいと思っています。

行事等報告

『修学旅行を振り返って』

二年一組 代表

十二月四日から六日までの三日間、修学旅行に行きました。

一日目は東京スカイツリーに行きました。天望デッキや天望回廊で東京の景色を見たり、お土産を買ったりしました。天望デッキから見た東京の景色はとても綺麗で、

アサヒビールの本社や黄色のオブジェ「フラムドール」を見る事ができました。その後、水上バス「エメラルダス号」に乗り、隅田川を下ってお台場まで行きました。水上バスのデッキから見た夕方から夜にかけての景色がとても綺麗で、写真をたくさん撮りました。

二日目はデイズニールンに行きました。アリスのティーカップに乗った時は、カップがすごい勢いで回ったので怖かったです。スリルがあつて楽しかったです。パークを回って気づいたことがあります。それはキャストの皆さんが常に笑顔で丁寧に接客していたことです。キャストだけでなく、清掃員やパーキングロットの方も、みんな笑顔で仕事をしていました。自分が笑顔になることで、ゲストに笑顔で楽しんでもらえるようにしているのだなと思いました。おかげで私も最後まで楽しく遊ぶことができました。私も将来働くときは、笑顔を大切にしていきたいと思います。

三日目は班別研修で、浅草と新宿、原宿に行きました。

一番楽しかったのは新宿の歌舞伎町に行けたことです。個人的にずっと見たかった歌舞伎町一番街のアーケードを生で見ることができてとても嬉しかったです。

三日間、とても充実した時間を過ごすことができました。修学旅行で学んだこと、経験したことを今後の学校生活に生かしていきたいと思えます。



『インターンシップ発表会』

二年一組 代表

一月十七日にインターンシップ研修校内発表会がありました。私は、難波製作所様で二日間経験させていただいたことやインターンシ

ップを通して学んだことを発表しました。

発表準備はとてもスムーズに進みました。ただパワーポイントはどう少しレイアウトを考えて、話の流れに沿って簡略化すればよかったです。後から思いました。発表原稿もただ事実を羅列しただけで、起伏がなくつまらないものになってしまいました。自分が感じたことはたくさんあつたはずなのに、結果的に堅苦しいつくりになってしまったのが残念です。

発表当日は、事業所の方がいらっしやるということでも珍しく緊張してしまいました。思ったように声が出ず、早口になったり、原稿にない言葉や言ったりと、練習でできたことが全くできませんでした。次回発表がある時は、楽しんでやるぞという気持ちで臨みたいと思います。

今回のインターンシップでは、事業所の方から「好きなことのために苦手を頑張る」という言葉を伺ったことが一番の収穫でした。また、発表会の後も、「好きを見つ

けることが仕事をする上でモチベーションになる。苦手を克服できれば一番いいが、好きを伸ばすのも大事。自分のいいところをよく理解し、学校生活や社会に出てからも伸ばしていつてほしい」という講評をいただきました。

あまり発表という機会がなく緊張しましたが、事業所の方に直接お礼を伝えることができてよかったです。次は自分でも納得がいく発表にしたいと思えます。

『初めての球技大会』

一年一組 代表

球技大会を経験し、思ったことが二つあります。

一つ目は、仲間と話し合い、ダメだった部分を改善することの大切さです。私たちのチームは初戦負けてしまいました。そこで仲間とどこが悪かったのか振り返り、次の試合に向けて改善点を話し合いました。その結果、次の試合では声を掛け合ったり、積極的にボールを取りに行

ったりでき、試合に勝つことができました。

二つ目は、諦めずに頑張ることです。一試合目の負けで、チームのみんなが悔しそうにしていたのを見て、私はその場の空気を明るくするために、自分から改善点を話して、チームみんなが頑張ることができました。

仲間と協力して諦めずに頑張ることは、球技大会に限らず、これからの学校生活や社会に出た時にも生かせると思います。来年の球技大会もクラスみんなが協力して頑張りたいと思います。

